

熊本市 感染症発生動向調査 速報



◆RSウイルス感染症が増えています

RSウイルス感染症とは・・・

RSウイルスによる呼吸器の感染症で、年齢を問わず、生涯に何度も感染と発病を繰り返します。発症の中心は0～1歳児で、生後1歳までに半数以上が、2歳までにほぼ100%の子どもが少なくとも1回は感染すると言われています。

◆どんな病気？

- ・症状……………鼻水、発熱などの軽い風邪様の症状から重い肺炎まで様々です。
 多くは軽症ですみますが、低出生体重児、心疾患、肺疾患、免疫不全のある場合は重症化のリスクが高いと言われています。また、初めての感染では症状が重くなりやすいと言われており、特に乳児の早い時期(生後数週間～数ヶ月間)に初めてRSウイルスに感染した場合には、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあります。
- ・潜伏期間…2～8日程度(典型的には4～6日)
- ・感染経路…感染者の咳やくしゃみのしぶきを吸い込む飛沫感染、ウイルスが付着した手や物(手すり、おもちゃ等)を触ったりなめたりすることによる接触感染があります。
- ・流行期……………例年冬季にピークが見られ、夏季は報告数が少ない状態が続いていましたが、近年は7月頃から報告数の増加傾向が見られています。



◆かかったらどうすればいいの？

- ・特効薬はありませんので、治療は基本的には対症療法になります。

◆予防法は？

- ・手洗い、アルコール製剤などで手指を衛生に保ちましょう。子どもたちが日常的に触れるおもちゃや手すりなどは、アルコールや塩素系の消毒剤などでこまめに消毒するようにしましょう。
- ・重症化のリスクの高い乳幼児には、医師の判断のもと、重症化を予防するためにパリビズマブ(シナジス)という薬を使用する場合があります。

期 間		平成28年 第34週		平成28年 第35週	
		8/22～8/28		8/29～9/4	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症 ⚠	➡	22	1.38	27	1.69
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	4	0.25	4	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	18	1.13	11	0.69
感染性胃腸炎 ⚠	➡	67	4.19	70	4.38
水痘(みずぼうそう)	➡	3	0.19	7	0.44
手足口病	➡	5	0.31	6	0.38
伝染性紅斑(りんご病)	➡	3	0.19	1	0.06
突発性発しん	➡	7	0.44	11	0.69
百日咳	➡	0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ	➡	4	0.25	3	0.19
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) ⚠	➡	15	0.94	22	1.38
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	➡	15	3.00	12	2.40
細菌性髄膜炎	➡	1	0.20	1	0.20
無菌性髄膜炎	➡	3	0.60	3	0.60
マイコプラズマ肺炎	➡	7	1.40	5	1.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	0	0.00	0	0.00